西日本ネットワーク

中国・四国・九州・沖縄

JAPAN METAL BULLETIN Local Network

福岡支局 FUKUOKA
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3丁目23番22号
シティ22ビル
TEL (092) 472−3887　FAX (092) 472−3888

2021年（令和3年）6月11日（金）
第20215号
Since1936
日刊 産業新聞 Japan Metal Bulletin

安芸メタル

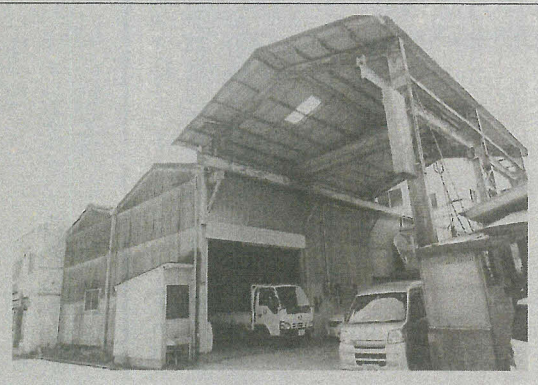
子会社と連携強化

加工需要深掘り　売上高30％増へ

室坂社長

鋼板加工・産業機械部品製造の安芸メタル工業（本社＝広島市、室坂考治社長）は、昨年12月に子会社化した鋼材販売・金属加工の互光スティール（本社＝広島市、同社長）と連携し、金属加工需要の掘り起こしを進める。それぞれの事業分野を生かしてシナジーを発揮し、取引先への多角的な提案営業に取り組む。8月には営業所の開設などを計画している。3年後をめどに両社合わせて売上高の30％増加を目指す。

互光スティールは自動車関連、建設機械向けなどの部品加工を手掛けるが、切断や複雑な切削加工は外注していた。レーザー切断機、マシニングセンターを保有する安芸メタル工業との相互取引で加工の短納期化を図り、納期の関係でこれまで対応できていなかった仕事の受注に努める。


子会社化した互光スティール

新規取引先の開拓を目的に、8月から新たな事業展開を図る。安芸メタル工業は関西地区に営業所を開設する。これまで広島県、岡山県が中心だった営業エリアを関西圏まで広げる。

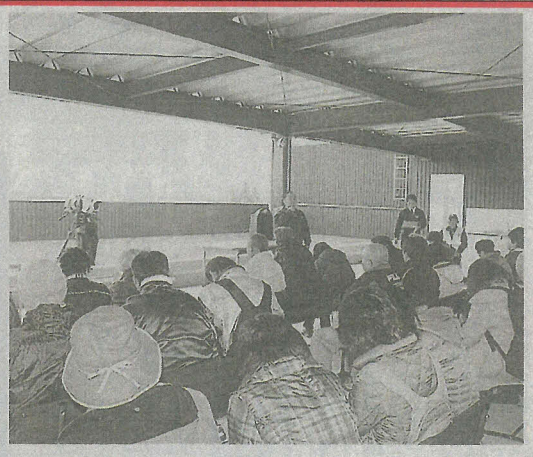
互光スティールでは広島地区で非鉄材料の販売事業を始める。銅・黄銅・アルミの板厚0・01ミリメートルから3ミリメートルまでの薄板を在庫する。まずは安芸メタル工業向け、徐々に金属加工業者向けへと販路を拡大し、同時に加工の仕事も獲得していく狙い。

互光スティールは後継者が不在だったことから、金融機関を通じて事業の譲渡先を探していた。安芸メタル工業は車で約20分の場所に位置しており、ステンレス鋼の販売先でもあった。事業分野、得

清松総合鉄工

SDGs取り組み推進

防災協定締結など9項目


地元校区が初めて実施した防災避難訓練での同社社屋屋上の様子（18年）

大分県北部のHグレード鉄骨ファブリケーター、清松総合鉄工（本社＝宇佐市、清松芳夫社長）はSDGs（持続可能な開発目標）の17のゴールの内、9項目に対してすでに取り組むなど積極的に推進している。大企業に対して中小企業は株主からの圧力が少ないなど先送りにしがちな課題だが、「積極的に取り組むことで最終的に生き残ることができると信じている」（清松社長）と話し、今後も推進する考えを示す。

再生可能エネ電力も

同社は社是を「世のため／人のため／そして自己のために」と掲げ、SDGsへの取り組み意欲も旺盛。同社では①貧困をなくそう④質の高い教育をみんなに⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに⑧働きがいも経済成長も⑨産業と技術革新の基盤をつくろう⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑬気候変動に具体的な対策を⑰パートナーシップで目標を達成しよう――9項目に取り組む。

具体的には2017年に完成した社屋屋上を津波時の一時避難所として地域住民などに開放する防災協定を宇佐市と締結し、防災訓練を実施（⑪と⑬に該当）。昨年には新型コロナウイルスの影響を受けた地域中小飲食事業者を支援するため商品券発行などの支援スキームを構築（⑪）、小中学校などで定期的に開催する特別授業や工業高校への溶接棒の寄贈（④）などを行うほか、従業員満足度の重視や全国20万人の学生が憧れる社長50人を選ぶリーダーズ・アワード2021でのトップ評価（⑧）、外国人技能実習生の受け入れ（⑩と⑰）などを通して、現在は9項目で取り組みを推進。

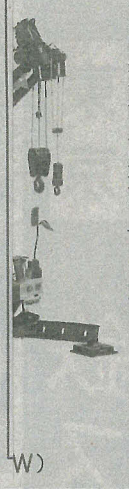
大分大学教育学部付属中学校での特別授業の様子（20年）

このほか、CSR（企業の社会的責任）は「企業が経済・環境・社会などの幅広い分野における責任を果たすことで企業自身の持続的な発展を目指す取り組みである」との考えから、今年2月から電力使用量の約半分をバイオマス発電を手掛けるエフオンの100％再生可能エネルギーに切り替えた（⑦に該当）。電力コストは60−70％上昇するが、「環境に配慮した経営に取り組み地域社会からより信頼される企業を目指す」（同）とする。同社に限らず、近年は若年層を中心に環境や社会貢献への意識や関心は高く、新規入職希望者などへのアピールにもつなげたい考え。

また、地域貢献の一環として毎年、本社社屋と第5工場がある「尾永井地区」へ寄付金を贈呈。今年は新型コロナウイルス禍で祭りやイベントなどの取り組みが全て中止となり寄付金が集まらず、厳しい運営に直面している状況から新たに第1−4工場を置く「駅通り地区」も加え、先月25日に贈呈式を実施した。

タダノ、クレーン拡充

2ウインチ、狭所で作業可能



建設クレーン大手のタダノ（本社＝高松市、氏家俊明社長）は1日、ラフテレーンクレーンの新型モデルを発売した。現行シリーズ「CREVO（クレヴォ）G4」の最小クラスに「2ウインチ仕様」の「GR−130NL/N（2W）」を追加。標準価格は2950万円（税別）で、年間120台の販売を見込む。

2017年12月に発売したCREVOmini G4の「1ウイン

集音盤

熱意と誠意を持って仕事

「熱意と誠意を持って仕事をしたい」と話すのはエムエム建材中国支社棒鋼・土木建材部の佐藤高広部長。若い時分、仕事に行き詰まった際に会社の先輩から「熱意を持って臨み、誠意を持って対応する」ことの大切さを教わった。以来、事あるごとに思い返す言葉だといい、「自らの経験と共に若い世代へと伝えていきたい」と語る。

▽…特約店での鋼材・加工品などの営業を振り出しに、鉄骨や鉄筋、重量土木など建材できた。2000タルワン建材ム建材）設立以して土木を担当木建材部長、15ム建材第二営業建材部長、16年棒鋼・土木建材年4月から現職

▽…思い出は、生まれ育品川区での港湾台後半で1工区模の現場を複半年ほどミルき来した。対応余裕がない中で方々と一緒になって遂げた。学んだと、そして現場らの感謝の言葉く刻まれている感覚を忘れない喜んでもらえると、心がけている返る。

九州・沖縄

東岡支月の

EcoDraft with CLOUDSIGN
産廃・建廃業界も電子契約で簡単はんこレス
（公社）全国産業資源循環連合会 規格様式準拠版も利用可能に！
まずは無料トライアル 050-3177-5254 10:00-18:00（土日祝日・年末年始は除く）
トライシクル株式会社 https://ecodraft.id

発行所　産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1−16−14 TEL 03(5566)8770(代) FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区阿波座1−3−15 TEL 06(7733)7001(代) FAX 06(7733)7070
アジア総局 上海市嘉山開路85号 上海支局 TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751
昭和24年12月27日第3種郵便物認可